

# 東北大学 災害復興新生研究機構 シンポジウム

## ～「日本復興の先導」を目指して～

東北大学は2011年4月に研究・教育・社会貢献等に戦略的かつ組織的に取り組み、その成果を発信・実践するための組織として、「東北大学災害復興新生研究機構」を新たに設置しました。

東日本大震災からの復興と我が国の再生に向けた取り組みを社会に向けて発信します。



**日時** 2013年3月9日土 13:00-17:30 **定員** 180名  
(参加費無料)

**場所** 仙台ガーデンパレス 凤凰(2階)  
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4丁目1番5号 **主催** 東北大学 **後援** 文部科学省、復興庁、  
宮城県、仙台市(全て予定)

プログラム				
13:00	開会挨拶	東北大学 総長 里見 進	15:05	⑤東北マリンサイエンス 農学研究科 教授 木島 明博
13:10	来賓挨拶	宮城県知事 村井 嘉浩 他、文部科学省、復興庁より来賓予定		⑥放射性物質汚染対策 生活環境早期復旧技術研究センター長 石井 慶造 加齢医学研究所 教授 福本 学
13:25	8つのプロジェクト報告	災害科学国際研究所長 平川 新 ②地域医療再構築 総合地域医療研修センター長 張替 秀郎 東北メディカル・メガバンク機構長 山本 雅之 ③環境エネルギー 環境科学研究科長 田路 和幸 ④情報通信再構築 電気通信研究機構長 中沢 正隆	16:30	⑦地域産業復興支援 地域イノベーション研究センター長 藤本 雅彦 ⑧復興産学連携推進 理事(産学連携担当) 数井 寛
14:50	休憩		16:55	復興アクション100+報告 食・農・村の復興支援プロジェクト 農学研究科 教授 中井 裕 復興構想国際スタジオ 工学研究科 教授 小野田 泰明
			17:20	東北大学への期待 河北新報社編集局デジタル編集部長 八浪 英明 石巻市立病院長 伊勢 秀雄
				閉会挨拶 東北大学 理事(震災復興推進担当) 原 信義 (敬称略)

申込は  
HPから

<http://www.idrrr.tohoku.ac.jp/>

申込は先着順となりますので、お早めにお申し込み下さい。

※定員になり次第、申込を終了致しますので、ご了承下さい。

## 東北大災害復興新生研究機構とは…

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、地震と津波、そして原子力発電所の事故という歴史上類を見ない大災害となりました。私たち東北大は、被災地域の中心にある総合大学として、復興に全力を傾けていく使命があります。「日本復興の先導」を目指して、東北、ひいては日本そのものを牽引するエンジンの役割を果たしたい。その目的を実現するため、2011年4月に「災害復興新生研究機構」を創設。研究・教育・社会貢献等に総力を挙げて取り組んでいます。

# 8つのプロジェクト・復興アクション100+

東北大では、8つのプロジェクトと復興アクション100+に取り組んでおります。  
復興アクション100+は、東北大教職員が自発的に取り組む100以上の復興支援プロジェクトです。



### 災害科学国際研究推進 プロジェクト

プロジェクトリーダー

災害科学国際研究所長 平川 新 教授

世界的災害科学研究の拠点として、災害科学国際研究所(IRIDeS)を設置。東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、これまでの災害対策や防災対策を刷新し、巨大災害への備えへのパラダイムを作り上げます。従来の災害研究を発展させた、巨大地震・津波の発生メカニズムの解明ほか、災害後の生活再建や災害教訓の語り継ぎなど、文系・理系の垣根を越えた「実践的防災学」研究に取り組んでいます。



### 地域医療再構築 プロジェクト

プロジェクトリーダー

総合地域医療研修センター長 張替 秀郎 教授  
東北メディカル・メガバンク機構長 山本 雅之 教授

総合地域医療研修センターを設置し、東日本大震災で被災した医療從事者を受け入れ、先端医療に携わる機会を提供することにより、地域医療を担う人材の育成と生涯教育に貢献します。また、東北メディカル・メガバンク機構では、被災地の医療支援とともに住民の長期健康調査を行い、同意のもとで収集された医療情報をデータベース化し、ゲノム医療や創薬研究に向けた基盤形成を目指します。



### 環境エネルギー プロジェクト

プロジェクトリーダー

環境科学研究科長 田路 和幸 教授

被災地の復興計画や産業復興において、災害時におけるエネルギーセキュリティの視点が重要視されています。地域との密接な連携のもとで、地元のニーズに応じた環境エネルギーシステムを提言・策定します。災害に強い先進的なまちづくりやクリーンエネルギー産業の育成への波及効果を視野に、東北地域の復興に貢献します。



### 情報通信再構築 プロジェクト

プロジェクトリーダー

電気通信研究機構長 中沢 正隆 教授

東日本大震災では、通信回線の途絶など情報通信(ICT)の課題が明らかになりました。東北大では、電気通信研究所が中心となり、電気通信研究機構を設置。独立行政法人 情報通信研究機構(NICT)と連携し、災害に強い情報通信ネットワークの開発・実証拠点を形成します。



### 東北マリンサイエンス プロジェクト

プロジェクトリーダー

農学研究科 木島 明博 教授

地震・津波が東北沿岸域の海洋環境・海洋生態系に与えた影響と回復過程を科学的に明らかにし、漁業や水産業の復興、地域の再生に貢献します。東北大、東京大学大気海洋研究所(AORI)、独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)が中心となり、全国の研究者の参画と、漁業関係者等の協力を得て調査研究に取り組みます。



### 放射性物質汚染対策 プロジェクト

プロジェクトリーダー

生活環境早期復旧技術研究センター長 石井 廣造 教授  
加齢医学研究所 福本 学 教授

放射性物質によって汚染された生活環境の復旧技術の開発を推進し、福島大学、福島医科大学と連携して自治体が必要とする技術調査を行い、その情報を技術開発に反映します。また、原子力事故に関連して殺処分された家畜や野生動物の臓器をバンク化、放射能濃度を計測し、生態系と生物への影響について調査を行います。



### 地域産業復興支援 プロジェクト

プロジェクトリーダー

地域イノベーション研究センター長 藤本 雅彦 教授

東北地域の産業・社会の復興を継続的に支援するため、地域特有の社会・経済に関する政策提言や具体的な課題解決のための情報発信を行います。また、地域企業の幹部や次世代経営者などを対象に、「地域イノベーションプロデューサー塾」を開講。東北地域の産業復興に貢献できるプロデューサーを育成し、雇用につながるビジネスイノベーションの創出を促進させます。



### 復興产学連携推進 プロジェクト

プロジェクトリーダー

産学連携担当 数井 寛 理事

宮城県の産業界や自治体との連携をより強くし、文部科学省、経済産業省等の復興施策を十分に活用しながら、大学の技術シーズの育成強化、被災地企業への移転促進等を実施します。革新的技術シーズを被災地企業において実用化し、被災地復興に貢献します。



### 復興アクション100+

食・農・村の復興支援プロジェクト

プロジェクトリーダー

農学研究科 中井 裕 教授

「安全安心で持続可能な食の確立」「農林水畜産業の復興」「農・漁村の再興」に関する多面的な支援に取り組んでいます。

復興構想国際スタジオ

プロジェクトリーダー

工学研究科 小野田 泰明 教授

津波被害を受けた地域にどのような都市機能を補完して、復興に向けたサステナブルな環境を作っていくか取り組んでいます。